きらめき朝日

朝日町立朝日中学校
学校だより
令和8年 10 月 21 日号
校 長　大 宮 裕 一

～「あいさつと笑顔があふれ、表現力豊かな学校」をめざして～

～体育祭～

二大行事スローガン

funfare!

10月8日（木）、絶好の秋晴れのもと体育祭を開催いたしました。爽やかな風が吹き抜ける絶好のコンディションとなり、熱中症の心配もなく、心身ともに清々しい一日となりました。

今年度の二大行事スローガンは、『funfare!』です。本来の「fanfare（ファンファーレ）」が持つ華やかで勇ましい響きに、「fun（楽しむ）」という思いを重ね、「全員で楽しみながら、記憶に残る華やかな行事にしよう」という深い意図が込められています。

行事に至るまでの準備期間においても、生徒たちの成長には目を見張るものがありました。無駄のない引き締まった練習の中で、生徒たちの元気な声が響き渡り、リーダーの的確な指示と、それに応えて堅実に動く全校生の姿が見られました。その頼もしい姿から、私は準備の段階で体育祭の大成功を確信しておりました。

当日は、生徒一人ひとりが練習の成果を存分に発揮し、笑顔のあふれる素晴らしい体育祭となりました。コロナ禍を経て、以前のような伸びやかな表現力を取り戻すことに苦慮する学校も少なくない中、本校の生徒たちはそうした影を一切感じさせず、表現力豊かに全身で躍動してくれました。結果は競技の部・応援の部ともに白軍の完全優勝となりましたが、勝敗を超えた深い充実感が会場全体を包み込んでいました。

平日のご多用中にもかかわらず、多くのご来賓の皆様、保護者の皆様にご来校いただき、生徒たちの生き生きとした姿を温かく見守っていただきましたことを、心より感謝申し上げます。



～熊本地震　募金活動～

２学期がスタートして間もなく、生徒会の自主的な呼びかけにより、「熊本地震募金活動」が行われました。毎朝、執行部の生徒たちが昇降口に立ち、義援金への協力を呼びかけましたた。

１週間の活動を通じて、**24,807 円**の義援金が集まりました。１０月１５日（木）には、生徒会三役が町長室を訪問し、町長様に皆様からの温かい義援金をしっかりとお渡しすることができました。

７月２８日の地震発生から間もなく２か月が経とうとしていますが、現地ではいまだ復旧のめどが立っていない現状があります。被災地のために「自分たちにできることは何か」を考え、行動に移してくれた生徒たちの姿を大変頼もしく感じます。生徒を通じて義援金に協力してくださった皆様におかれましても、本当にありがとうございました。





～朝日中の総合的な学習の時間～

令和８年度　学校教育目標
ふるさとを愛し　幸求め　直向きに生き抜く
あ　さ　ひ　朝日中生の育成

本校の総合的な学習の時間では、「地域を知る」「地域の人に学ぶ」「地域とのつながりを考える」をテーマに探究を深めており、２・３年生は、芸文祭に向けて地域の方々を講師にお迎えし、地域芸能の練習に励んでいます。

１年生は、地域を徹底的に知る取り組みとして、地域の方々からお話を伺ったり、体験活動を行ったりしています。これまでも、アーモンドの森での収穫体験をはじめ、リンゴの摘果作業や合格シール貼り、あけびの収穫と調理体験など、豊かな体験を重ねてきました。今後は、ソーセージづくり体験も予定されており、生徒たちにとって素晴らしい学びの機会となっています。

こうした学びの実践は、温かく支えてくださる地域の皆様のご協力があってこそです。本校の教育目標である「ふるさとを愛し、幸求め、直向きに生き抜く朝日中生の育成」に向け、着実に歩みを進めることができています。

また、授業時間内に体験先を訪問して学びを完結できる背景には、スクールバスの運行という恵まれた環境もあります。教職員一同、この恵まれた環境と皆様のご支援を「当たり前」とは思わず、常に感謝の気持ちを抱きながら、日々の教育活動に邁進してまいります。


